

サージ・ノイズ対策・ソリューション



情報通信システムへのサージ・ノイズ対策は万全ですか。
EPフィルター『EP2000シリーズ』は、お客様の情報通信システムを守ります。

No.21-10-2008

今日の情報通信システムは企業の生命線となっています。システムがダウンする事で甚大な損害を生み出し、24時間365日確実にオペレーションされなくてはなりません。そのため、情報通信システムの安定稼働を最大にするため、多くの対策がなされています。そのインフラ部分においては停電対策、電源の二重化対策、セキュリティ対策、地震・防災対策など、その方法は様々です。しかし、忘れられがちなのが『サージ・ノイズ対策』です。雷に依るサージでの障害は原因を容易に推測できますが、その他の原因に依る障害は認識する事が難しく、見過ごされています。

例えば、右記のような障害があり、原因を追究しても、究明できないと言う事はありますか？

障害

- 1) 日常的にIT機器の故障が多い。
- 2) 電子機器が誤作動する。
- 3) ハードディスクがよく壊れる。
- 4) ネットワークの通信が遅延する。
- 5) データの損傷がたまに起きる。
- 6) システムが突然ハングアップする。

ここに挙げた障害は雷サージなど、外部要因に起因する事もありますが、内部要因としても、右記のように多くの原因が存在します！

原因

- 1) スイッチのON/OFF
- 2) PC、通信機器内部電源のスイッチング
- 3) 省エネ・インバーター電灯
- 4) インバーター空調機
- 5) 充電器
- 6) 大型電気機器の起動／停止
- 7) エレベーターの起動／停止
- 8) 照明用安定器

上記に掲げた障害が発生する時には、『サージ・高周波ノイズに依る原因では？』と一度疑う必要があります。

雷サージは自然が作り出し、また、損害も大きく認識しやすい原因ですが、実際には雷サージは勿論、それ以外の内部要因への対策も考えなくてはなりません。

広瀬が提供するEPフィルター・EP2000シリーズは『サージ・高周波ノイズ対策』に効果を発揮する画期的な製品です。

EPフィルターの特徴

1) EPフィルターは回路に並列接続します。

これは大きな電氣的障害が発生した際に、電力の安定供給を維持するための重要な特徴です。直列接続でない為、EPフィルターの機能停止が発生しても、施設内の電力供給に影響を与える事はありません。

2) EPフィルターは最小の電気抵抗経路です。

電圧サージや落雷等の大きな電気ノイズが発生した場合に、EPフィルターはそのノイズに反応して、吸収し、システムから障害を除去するように設計されています。障害が甚大な場合にはEPフィルターは自らが犠牲になり設備機器を保護するように設計されています。この様な事象に備えて無条件交換の5年保証を提供しています。

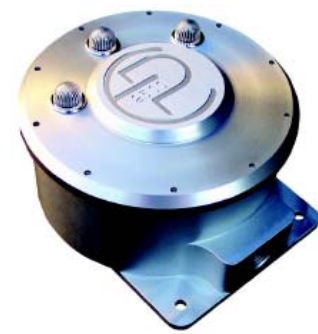
3) EPフィルターには保護用ランプが装備されています。

EPフィルターの各相には、作動を示すランプが備えられており、システムが保護されている事がわかる様になっています。相間が通電しなくなった場合は、ランプが消え、そのEPは交換されなければなりません。

4) EPシステムは冗長な保護を提供します。

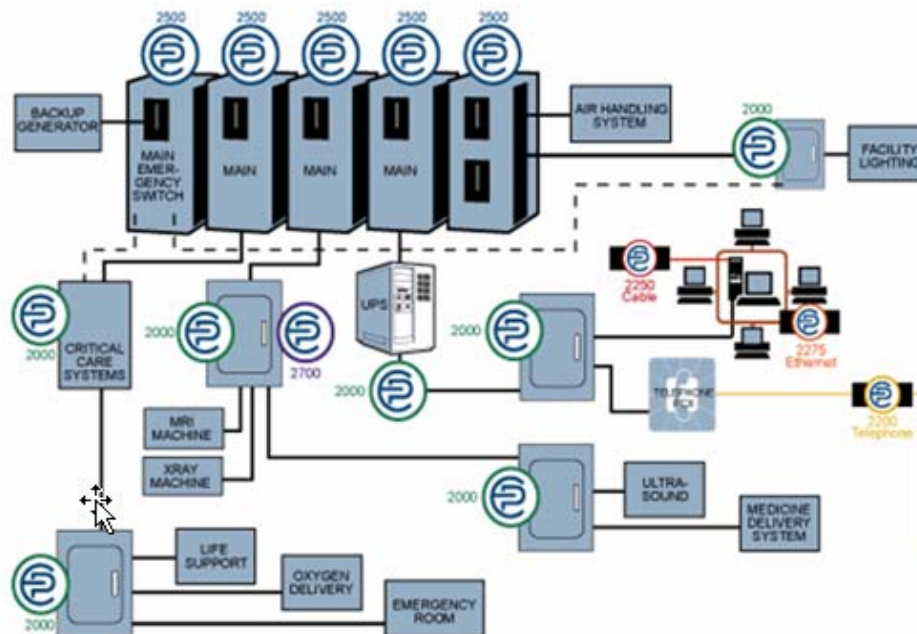
EPシステムは、最高水準のノイズフィルター作用を提供する為に、設備の全域にわたって設置されることをお勧めします。電氣的障害や雷害が外部で発生するとは限りません。先に述べた施設内で発生する内部要因にも対処する為に、設備全域に亘っての設置が理想的です。

EP外観図



サージ耐量: EP2000=12,500A
EP2500=80,000A

P. P. O. システムの設置概念図



<お問合せ>

<注意事項>

EP機器設置にあたり、接続負荷、設置環境、設備運転状況などにより、期待した効果が得られない場合があります。詳しくは担当者にご相談下さい。